

トウキ

植物の概要

- ・植物名 トウキ
【学名】*Angelica acutiloba* Kitagawa
- ・セリ科の多年草
- ・草丈 40～60 cm (2年目)
- ・花期 6～9月



トウキ(7月)

薬用部位 根

栽培期間 2年

栽培法

- 1年目 4月に播種し、翌年3月まで育苗する。
- 2年目 3月下旬～4月、苗床を掘り上げて選別した苗を本畑へ定植し、11月下旬に収穫する。

調製法

調製工程を経て、生薬に仕上げる。

1次乾燥	収穫直後から約2ヶ月間、葉を付けたまま吊るし乾燥
湯通し	根頭部を切りそろえ、40℃の湯に浸けた後、湯をかけながら揉み洗い
最終乾燥	網棚に並べて自然乾燥

生薬の概要

- ・生薬名 トウキ(当帰)
- ・日本薬局方※の規格 (※厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて定めた医薬品の規格基準書)
原植物：トウキ 又は ホッカイトウキ
エキス含量：希エタノールエキス35.0 %以上
- ・用途 漢方の重要生薬の一つで、婦人薬、冷え症用として利用度が高い。
また、家庭薬(婦人用薬)に配合される。
【処方例】 当帰芍薬散、防風通聖散、十全大補湯
- ・国内消費量(日本漢方生薬製剤協会による平成20年度の消費量調査結果より)
約 580トン 【産出国の内訳】 中国：約 376トン、日本：約 204トン



生育状況(5月)



生育状況(10月)



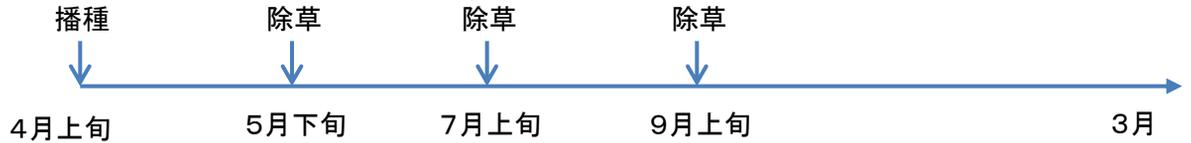
生薬「トウキ」

トウキの栽培法（概要）

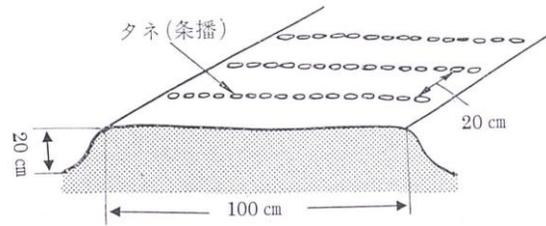
1年目

【育苗】1年生苗の育成

圃場に育苗床を作り、下図のように 20 cm 間隔で種子を条播きする。



トウキの種子



育苗床

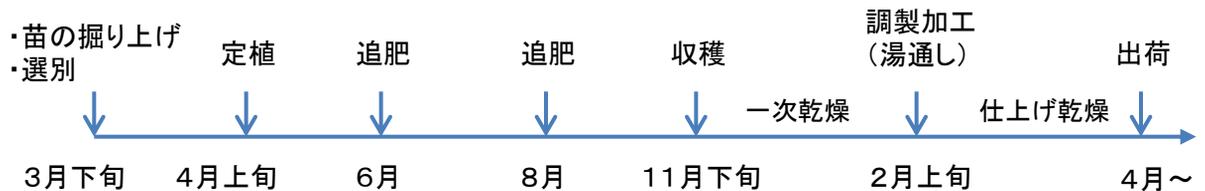
2年目

【定植、栽培、収穫、調製加工】

- ①育苗床を掘り上げ、定植可能苗（根頭部が5～8 mm）を選別
- ②圃場に定植し、追肥、防除、除草を行いながら栽培
- ③収穫し、1次乾燥（ハサ架け）の後、湯通し、仕上げ乾燥

太い苗を定植すると、花が咲いた後、根が枯れて収穫できなくなる。

※選別した苗でも通常5%程度は花が咲き、欠株となる。



トウキの苗
(根頭部の径: 5～8 mm)



栽培状況(10月)



収穫した根

生薬「トウキ」